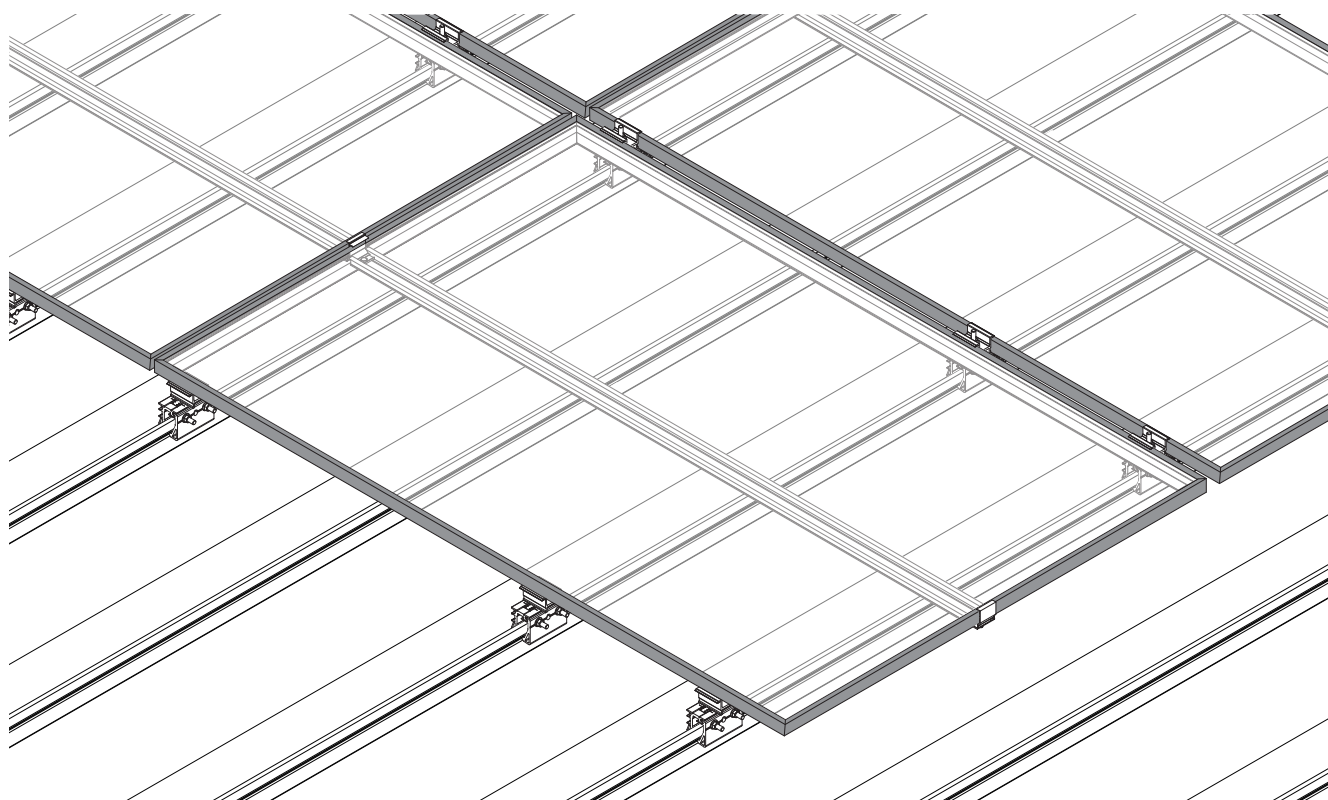


PVサポート

JIS C 8955:2017対応

太陽電池モジュール用多雪受けレール 据付工事説明書 〔傾斜屋根用〕



【 設置工事をされる方へのお願い 】

- 本マニュアルはPVサポートの施工マニュアルになります。
支持部(ホールド金具)の施工方法については、別途専用施工マニュアルをご確認ください。
- 対応支持部はイージーホールド工法のHSWホールド金具を使用します。
- 据付工事を始める前に据付工事説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。
- 電気設備技術基準とその解釈に引用されている JIS C 8955:2017 に準拠した据付強度を確保するため、据付工事説明書の据付方法を守ってください。
- 据付工事は販売店・工事店さまが実施してください。(第2種電気工事士の資格必要)
・据付工事は高所(2m以上)作業であり、感電のおそれもありますので防護手袋を着用し、「労働安全衛生規則」に従って施工してください。
- 取付けるための部材は必ず付属の部品を使用してください。
- モジュール1枚、同一系統の+・-コネクタをループさせないでください。



設置条件

■設置条件

- ・ 躯体に十分な強度があり、太陽光パネル設置に耐え得る強度があることを確認して下さい。
設置による躯体の強度や耐久性等は免責事項となります。

※ 各地域の建築基準を満たした構造であること。

※ 施工マニュアルに記載無き事項に関しては、施工者様のご責任にてご判断ください。

用途係数(風圧荷重)	IW=1.0
アレイ面の平均地上高	20m以下
地表面粗度区分	Ⅱ、Ⅲ又はⅣ
設計用水平震度	KH=1.0
地震地域係数	Z=1.0
用途係数(地震荷重)	IK=1.0
屋根材質	GL鋼板(カラー含む)、カラーステンレス
屋根材板厚	t=0.5mm以上

※上記より異なる場合は別途ご相談ください。

■設置不可条件

- ・ 躯体の老朽化や雨漏れ・結露の形跡がある場合。
- ・ 基準風速による制限
使用金具や地域等により異なります。
- ・ 塩害地域による制限
海水が直接掛かる場所や風により飛散した海水が付着するような環境。
- ・ 排気口等の汚染物質や腐食性の排煙等が掛かる環境。

■免責事項

- ・ 施工マニュアルに反した取付方法をした場合。
- ・ 自然災害、周辺環境等により不具合が生じた場合。
- ・ 屋根の変形、変位、野地板の歪み等により不具合が生じた場合。
- ・ 経年劣化による屋根や野地板の腐食、変形、陥没等により不具合が生じた場合。
- ・ 設置した支持金具を再度使用した場合。
- ・ 設置後の通常経年劣化による錆び、もらい錆び、変色、汚れ等が生じた場合。
- ・ 太陽光パネル設置により躯体の強度が耐えられなくなった場合。
- ・ 飛来物や小動物等により不具合が生じた場合。

■適合屋根

※ HSWホルドのマニュアルを参照してください。

部材一覧

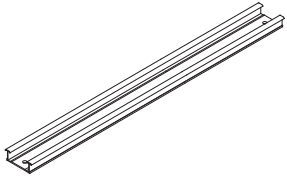
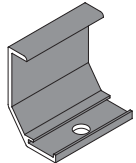


〈 セット品名 〉

品番名称	数量
PV サポートセット	1

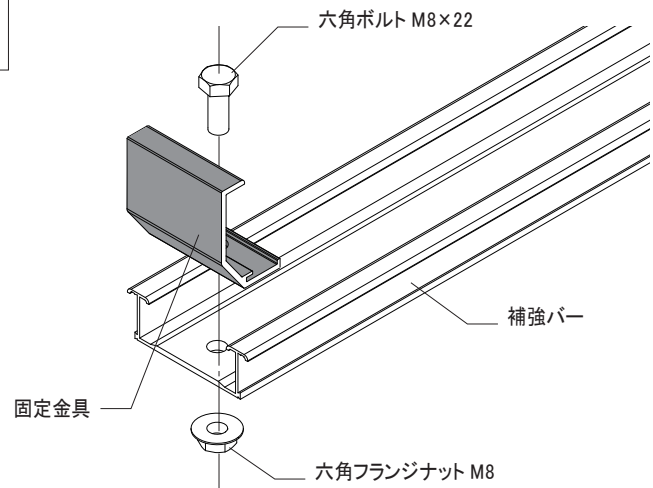
〈 商品構成 〉

PV サポートセット	
品名	数量
PV サポート用_補強バー L□□□□ ※1	1
PV サポート用_固定金具 黒 H△△ ※2	2
六角ボルト_M8×22	2
六角フランジナット_M8(セライト付)	2

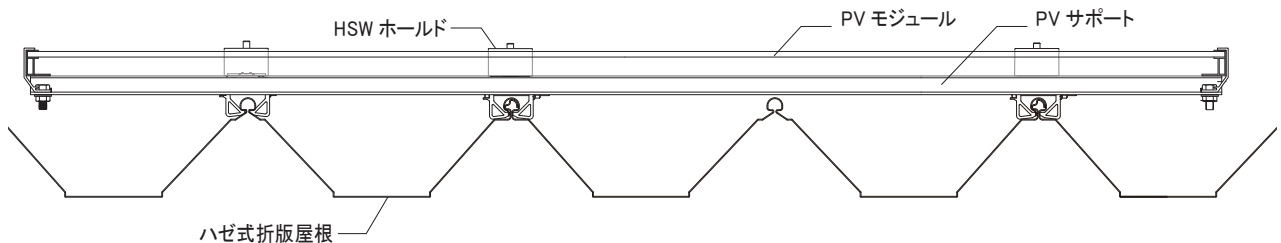
〈PV サポート 固定部材〉

補強バー L□□□□ ※1  アルミ	固定金具 H△△ ※2 △△=30,35  アルミ
六角ボルト M8×22  SUS	六角フランジナット M8 (セライト付き)  SUS

※1)□□□□は対応 PV モジュール長辺寸法です。
 ※2)△△は対応 PV モジュール厚み寸法です。



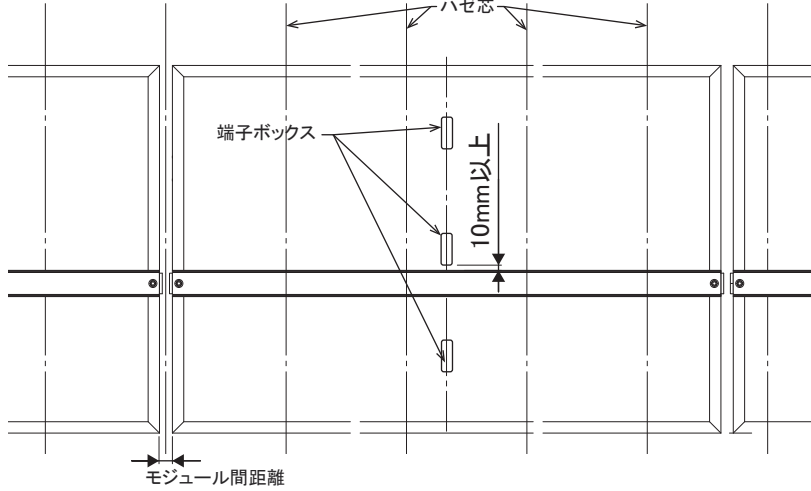
〈PV モジュール取付断面〉



PV サポート 使用条件

PVモジュール裏面の短辺長さの中心付近で、端子ボックスを避けた位置にPVサポートを設置してください。

<1本取り付ける場合>

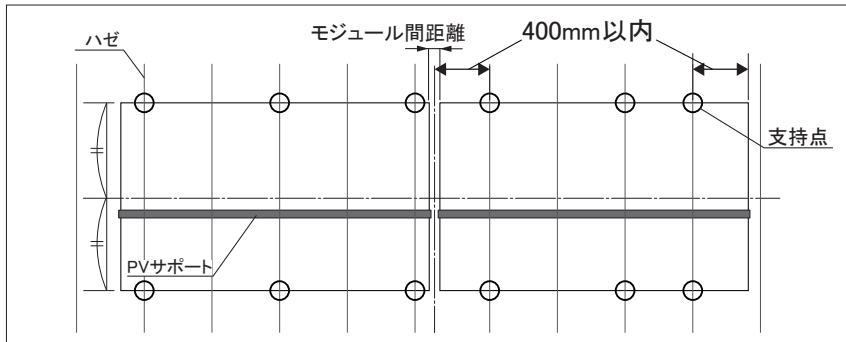


⚠ 注意
PVモジュールが倒れないよう、壁などに立てかけて取り付けてください。

⚠ 注意
PVサポートは、PVモジュールの裏面に長辺フレームと平行になるように取り付けてください。

⚠ 警告

PVモジュールの端子ボックスに干渉しない位置に必ず取り付けてください。干渉する位置に取り付けた場合は、積雪などの荷重を受けた際に、PVモジュールが破損する恐れがあります。

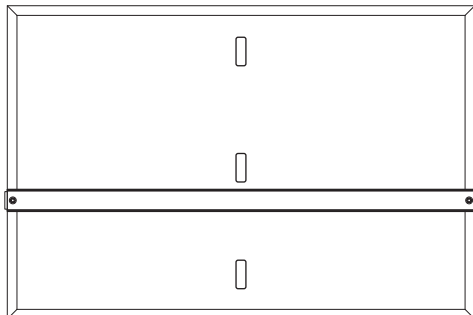


- PVモジュールの片持ち距離は、400mm以内となるように設置してください。
- PVモジュールの短辺長さに対して均等となる位置で、端子ボックスを避けた位置に取り付けください。
- PVサポートが干渉しないようにモジュール間距離をあけてPVモジュールを設置してください。

PVサポート 取付例

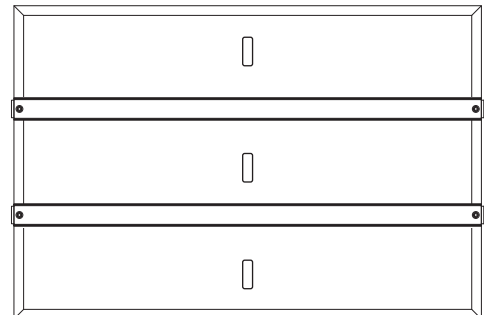
<p><同一線に取り付ける場合></p>	<p>固定金具の厚み2.5mmを考慮し、互いに干渉しないよう取り付けください。</p>	<p><ずらして取り付ける場合></p> <p>※モジュール間3mmの場合</p>	<p>固定金具同士が干渉しないよう、モジュールフレームと平行にずらして取り付けください。</p>
----------------------------	---	---	--

<1本取り付ける場合>



※PVモジュールの短辺長さの中心付近で、端子ボックスを避けた位置に取り付けください。

<2本取り付ける場合>



※PVモジュールの短辺長さに対して均等となる位置で、端子ボックスを避けた位置に取り付けください。

PV サポート 施工手順

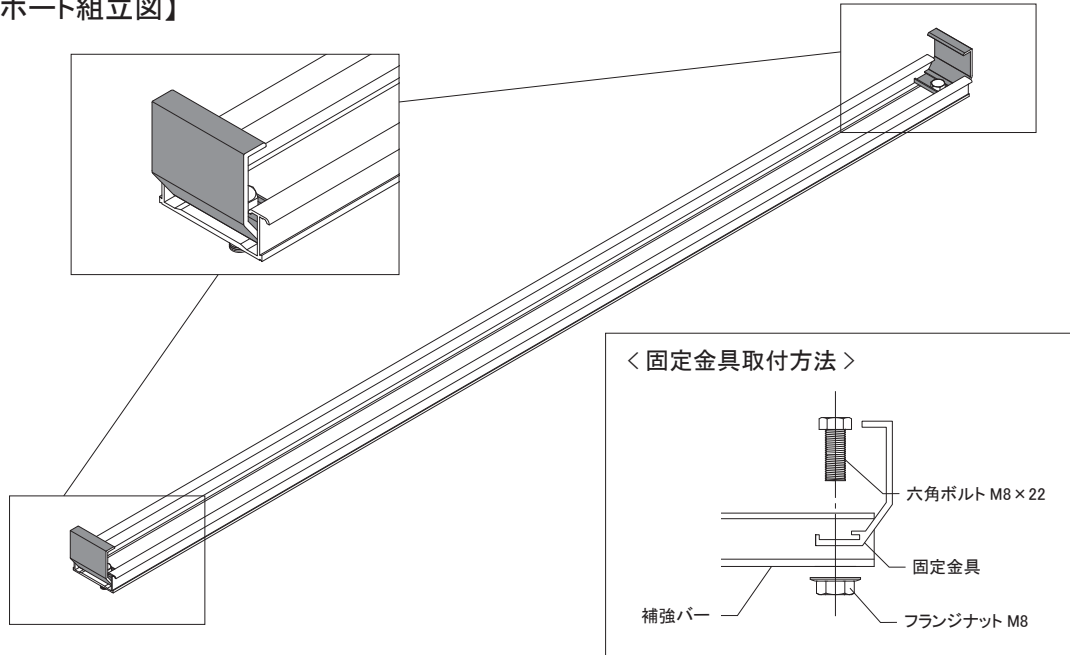
据付用工具

- 電動ドライバー(トルク管理が可能なもの)
- トルクレンチ
- 充電式インパクトドライバー
- (測定トルク 10.0~12.5N・mを測定できるもの)
- 六角ボックスレンチ(対辺13mm)
- スパナ(対辺13mm)
- 六角ソケットビット(対辺13mm×55mm)
- コンベックス

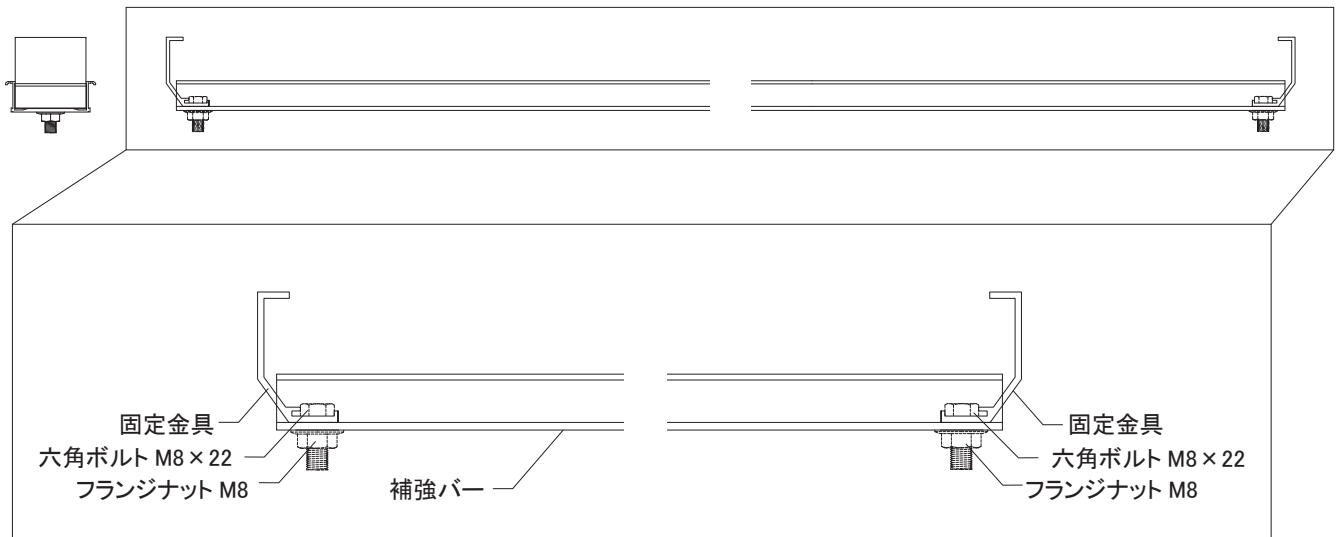
1 PVサポートの組立

PV モジュールに取り付ける前に下図のように PV サポートを組み立ててください。

【PV サポート組立図】



側面)

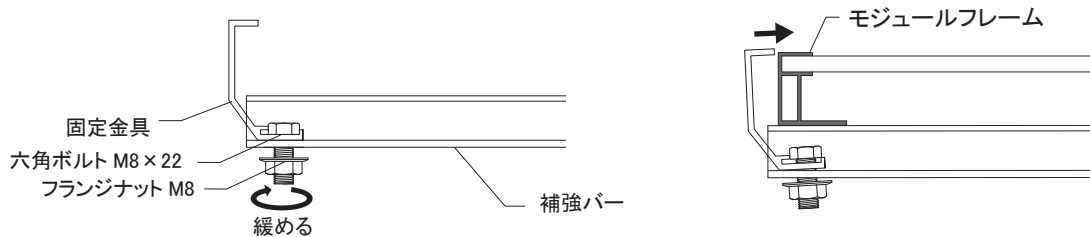


底面)

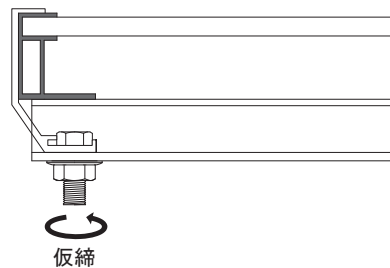


2 PVサポートの取付

①フランジナットを緩め、固定金具をモジュールフレームに挿入してください。



②片側ずつ固定金具を仮締めしてください。

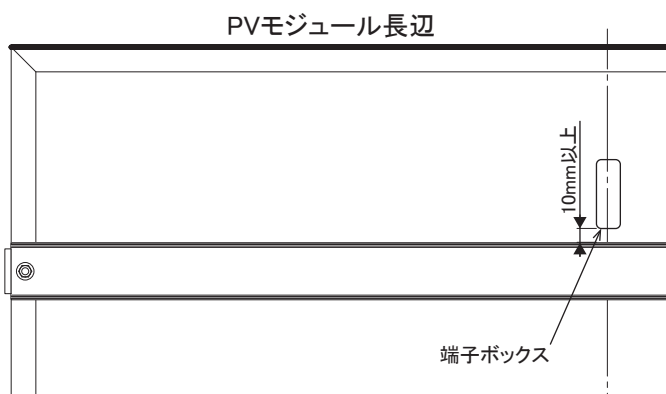


③PVサポートの位置を確認し、位置の微調整を行ってください。

POINT

※PVサポートがPVモジュール長辺に対して平行になるように設置してください。

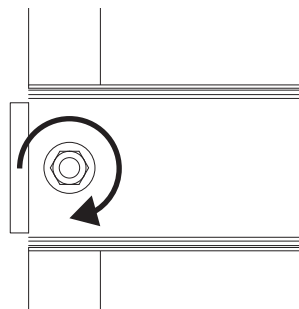
※端子ボックスが最低10mm以上離れていることを再度ご確認ください。



④固定金具を引っ掛けた状態でフランジナットを締め付けてください。

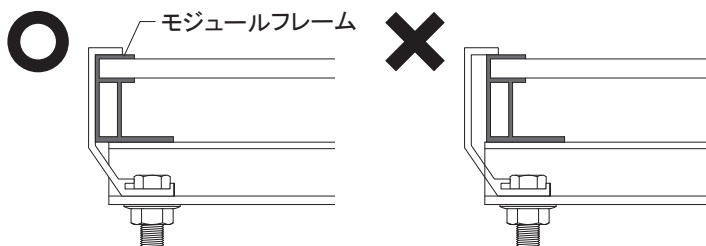
POINT

締め付トルクは、10~12.5N・m

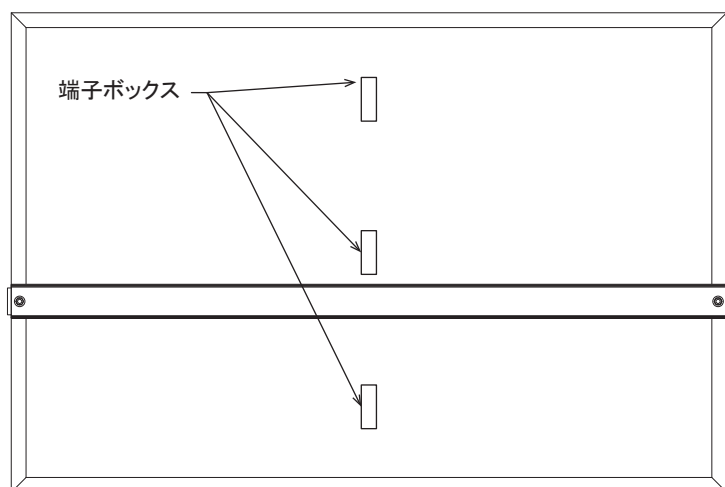


⚠ 注意

固定金具はモジュールフレームに確実に固定してください。
固定金具とモジュールフレームの間に隙間などが生じた状態で固定するとPVサポートが脱落する恐れがあります。



〈PV サポート裏面取付けイメージ〉



※PV サポートを 2 本以上設置する場合は、同様の工程を繰り返してください。

◆取付け完了

重要

設置完了後、全てのナットに緩みが無いかを必ず確認してください。